

追手門学院大学社会学部芸術文化事業 映画上映会 & トークセッション
Koki Tanaka “Vulnerable Histories (A Road Movie)”

田中功起

可傷的な歴史

(ロードムービー)

日時 | 2022年1月8日 [土]

13時 - 16時

12時30分開場 13時上映

14時45分トークセッション

会場 | 茨木市福祉文化会館 (オークシアター) 5F 文化ホール

参加費 | 無料

主催 | 追手門学院大学社会学部

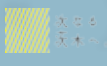
共催 | 茨木市・公益財団法人茨木市文化振興財団

協力 | 追手門学院大学社会学部社会文化デザインコース

企画・コーディネート | 富田大介

テクニカルアドバイザー | 林勇気 映写技師 | 中川允子

舞台設営 | 毎日舞台 宣伝美術 | One Art Project



可傷的な歴史 (ロードムービー)

Vulnerable Histories (A Road Movie)

世界中でこれほどまでに排外主義が表面化すると誰が予想していたであろう。異なる人びとが「いかに共に生きるか」という問いは空しいものになってしまったのだろうか。

本作は、私たちの住むこの社会の深奥を二人の主人公の対話をもとに紐解いていく。東京に暮らす在日コリアン3世とチューリッヒから来た日系スイス人の二人。初対面の二人が、ともに荒川や川崎を旅し、在日コリアン排斥の過去と現在に出会っていく。関東大震災後の虐殺の現場やヘイトスピーチの行われた地域、それらを移動しながら関連する法律を読み上げ、その過程で二人は少しずつ心を開き、いままで語れなかった感情を言葉にしていく。私たちはどのようにして誰かを理解するのだろうか。誰かの複雑さを、どのように受け止めることができるのだろうか。

現実とフィクションが交差する拡張されたドキュメンタリー。

田中功起

2019年 | スイス、日本 | カラー | 78分
 監督・プロデューサー・編集 | 田中功起
 出演者 | 鄭優希、クリスチャン・ホファー

プロジェクトアドバイザー・レクチャー | ハン・トンヒョン
 レクチャー | 西崎雅夫 (社団法人ほうせんか)
 法律アドバイザー | 戸川隆浩
 事前勉強会レクチャー | 山本唯人 (東京大空襲・戦災資料センター)
 撮影監督 | 青山真也
 録音・整音 | 藤口諒太
 制作 | 田中沙季
 英語字幕 | ディーン島内翻訳事務所
 日本語字幕翻訳 | 大館奈津子 (芸術公社)
 日本語字幕監修 | 戸田史子 (芸術公社)
 法律翻訳 | 東久保麻紀
 製作 | ミグロ現代美術館
 助成 | アーツカウンシル東京 (公益財団法人 東京都歴史文化財団)
 協力 | 青山目黒、ビタミン・クリエイティブ・スペース



トークセッション Talk Session

本作を関西で最初に上映したのは、THEATRE E9 KYOTO です。そのシアターは、京都の朝鮮学校の前でヘイトスピーチがされだしてから十年後の2019年に、東九条で幕を開けました。茨木市の文化ホールもそうですが、劇場は、人々が語る(騙る)ことで心の歴史を創ってゆくところです。今回のトークセッションでは、この映画をめぐる社会問題や背景、そして文化施設の意味などについて、話し合います。

企画者 追手門学院大学 富田大介

田中功起 Koki Tanaka

アーティスト。主な展覧会にあいちトリエンナーレ (2019)、ミュンスター彫刻プロジェクト (2017)、ヴェネチア・ビエンナーレ (2017) などがある。2015年にドイツ銀行によるアーティスト・オブ・ザ・イヤー、2013年に参加したヴェネチア・ビエンナーレでは日本館が特別表彰を受ける。主な著作、作品集に『リフレクティブ・ノート (選集)』(アートソング、美術出版社、2020年 / 2021年)、『Vulnerable Histories (An Archive)』(JRP | Ringier、2018年)、『Precarious Practice』(Hatje Cantz、2015年)、『必然的にばらばらなものが生まれてくる』(武蔵野美術大学出版局、2014年) など。



あごうさとし Satoshi Ago

劇作家・演出家・THEATRE E9 KYOTO 芸術監督・アーツシード京都代表理事。「複製」「純粋言語」を主題に、有人、無人の演劇作品を創作している。2019年より新劇場「THEATRE E9 KYOTO」を設立、運営する。森村泰昌、やなぎみわなど美術家との共作多数。2007年度若手演出家コンクール最優秀賞、2010年度京都市芸術文化特別制度奨励者、2012年度利賀演劇人コンクール奨励賞、2017年度京都市芸術新人賞受賞。令和2年度京都府文化賞奨励賞。京都芸術大学舞台芸術研究センター主任研究員。



松谷実のり Minori Matsutani

追手門学院大学社会学部准教授。Ph.D (京都大学)。移民、労働、若者の研究にたずさわり、上海やデュッセルドルフ等で現地調査を行う。論文に「若者はなぜ「現地採用者」になるのか——上海への移住労働者を作り出すメカニズムの視点から」(『ソシオロジ』第60巻2号)、「Un aspect méconnu de la migration qualifiée: la mobilité Nord-Sud des classes moyennes en Asie」(Migrations Société Vol.27 No.157) などがある。



富田大介 Daisuke Tomita (司会)

追手門学院大学社会学部教授。Ph.D (神戸大学)。舞踊や演劇など上演芸術の研究・教育・実作にたずさわる。主な企画や出演に『RADIO AM 神戸 69 時間震災報道の記録』リーディング上演 (神戸大学百年記念館)、『PACIFIKMELTINGPOT』(鳥の劇場、ランス国立舞台他)、『The Show Must Go On』(彩の国さいたま芸術劇場)、著書や論文に『身体感覚の旅』(大阪大学出版会)、『土方翼の心身関係論』(『舞踊学』35号) などがある。



申し込み期間 | 11月15日 - 12月15日

参加希望者が多い場合は抽選になります。抽選結果は12月18日にお伝えします。キャンセルや社会状況等に応じて追加当選ないし再募集することがあります。

申し込み方法 | <https://www.ibabun.jp/>

問い合わせ先 | 茨木市文化振興財団文化事業係 072-625-3055 (9:00 ~ 17:00)

ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症予防にご協力ください。最新の情報等、詳細は茨木市文化振興財団のウェブサイトにてご確認ください。
<https://www.ibabun.jp/covidtorikumii202011/>

茨木市福祉文化会館 (オークシアター) 5F 文化ホール

〒567-0888 茨木市駅前四丁目7番55号 Tel | 072-623-3962

JR 茨木駅から東へ徒歩8分 阪急茨木市駅から西へ徒歩9分



専用申込フォーム

